

新春日部

発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市粕壁東
6丁目7-12
電話 748-5159
FAX 748-5179

日本で初開催のデフリンピックを盛り上げよう

大野とし子議員一般質問



9月11日(木) 大野とし子議員は①デフリンピックを盛り上げるために、

手話言語条例制定の検討を②小児休日夜間診療を実施し、切れ目なく命が守れる春日部市に③高齢者の移動手段を確保し、自分らしく暮らせる春日部市にの3点について、一般質問を行いました。

手話言語条例の制定で、デフリンピックを盛り上げよう

耳の聞こえないまたは聞こえにくいアスリートたちが競い合うスポーツの祭典であるデフリンピックが、11月15日から26日まで日本で初めて開催されます。フランスで始まったデフリンピックは、今年100周年を迎えます。

大野議員は、デフリンピック開催を機にろう者の言語である手話を学び、広げ、守ることができる春日部市とするために、手話言語条例を制定していくべきと求めました。市長は、「障害の特性に応じた支援の充実に向け、自立支援協議会や各関係団体のみなさんと議論を深めていきたい」と答えました。

高齢者の移動確保のため に春タクを福祉施策で

公共交通を考える会のアンケートに多くの高齢者から、「免許を返納したらどこへも行かない」「自転車に乗れなくなったら、困ってしまう」などの声が届きました。自分で行きたい所に行けてこそ、その人らしく生きることができます。まさに「交通は人権」です。

大野議員は、現在、春日部市には高齢者の移動手段の施策がなく喫緊の課題であることを指摘し、市は高齢者の移動手段の重要性をどのように認識しているか問いました。

福祉部長は「高齢者の移動手段の確保は日常生活の維持、健康の保持、社会参加の促進において非常に重要であると認識しています」と答弁。

大野議員は、「高齢者にとっ

てはドアtoドアのタクシーは重要な交通手段です。庄和地域で実施している春タク(タクシー代補助制度)を、高齢者施策として、春日部市全域に広げ、駅から800mバス停から300m以内の人は対象外とするなどの距離制限も無くして実施していくべき」と提案しました。

市長は、「春タクの成果を維持しつつ、福祉施策の充実を図りたい」と答弁しました。

小児休日夜間診療の実 施で子どもの命守れ!

春日部市は、小児休日夜間診療を実施すれば、切れ目のない小児診療となります。

大野議員は子どもの命を守れる市とするために小児休日夜間診療の実施を求めました。

市長は「医師確保が厳しい状況にあり、休日夜間診療の拡充は困難な状況」と答弁。

<生活相談は日本共産党へ> 並木としえ090-3916-0168 大野とし子090-7843-4945

今尾やすのり090-1032-4833 木下みえ子050-3559-1640

日本共産党市議団ホームページ <https://www.jcp-kasukabe.jp/>



並木としえ議員一般質問

危険な暑さから子ども、市民
を守るため屋内市民プールを

9月17日、並木としえ議員は①子どもから高齢者まで楽しめる市民プールの建設を②公共施設マネジメント計画は市民要望に応える見直しをの2点について一般質問をおこないました。

要望は認識している
建設の計画はない

危険な猛暑で、夏休み中も外で遊んでいる子どもはほとんどいませんでした。

危険な暑さから子ども、市民を守るために屋内市民プールの建設を求めました。

社会教育部長は「市民プールの要望は認識しているが、市のスポーツ施設マネジメント計画でスポーツ施設の集約化を前提としており、あらたなスポーツ施設を建設する計画はない」とし、市長も「危険な暑さから子どもを守るために、今後整備予定の学校優先温水プールを利用していただきたい」と答弁し、市民プールの建設をという市民の願いに背を向けました。

ハコモノのコスト

床面積20%削減

春日部市では2017年に「公共施設マネジメント計画」策定しました。人口急増期に一斉に公共施設を

整備したため、市内公共施設は築30年以上経過したものが7割を超え、一斉に更新時期を迎えます。「計画」は2047年までの31年間でハコモノにかかるコストを1057億円(年あたり34・1億円)削減し、施設総量(延べ床面積)を20%削減するというものです。

コスト削減、総量削減を目的とした計画のため、建て替え、充実、新規建設という選択肢はありません。策定から10年ごとに「見直す」ことになっており2027年に向けて見直し時期を迎えます。

並木議員は「この計画が足かせになって老朽施設を放置することになっているのではないか。「計画」見直し前に、粕壁南公民館の突然の廃止発表は、「計画」の見直しと整合性がないのではないか。公共施設マネ

ジメント計画を「神の声」のごとく市民に押し付けるやり方はあってはならない。市民や利用者に丁寧に説明し、要望をよく聞いて、市民要望に沿った計画へと見直すべき」と主張しました。

公共施設事業調整担当部長は「公共施設マネジメント計画はコストや総量の削減だけを定めたものではなく、まちづくりの視点を重視し、地域の将来像を見据えた公共施設の適正な配置を検討したもので、人口動向や財政状況から公共施設のコンパクト化(統合・廃止・規模縮小)を推進し、既存施設の有効活用を図るもの。粕壁南公民館廃止は教育センター再整備にあたり機能移転するもので、この計画に整合している。市民・利用者の協力がなければ推進できないと認識している」と答弁しました。

休日の当番医

市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119

9/28(日)染谷医院(内科系)西宝珠花700TEL748-1011 浜崎医院(小児科系)備後西3-8-57

TEL745-6000 小笠原医院(外科系)新宿新田319-2TEL746-7071

10/5(日)春日部さくら病院(内科系)金崎702-1TEL746-7071 安達医院(小児科系)栄町3-278

TEL761-6398 かすかべ整形外科・内科はまれクリニック(外科系)八丁目87-1TEL760-2551